

# 平成 3 1 年度 県事業計画について

福島県 保健福祉部

# 1. 福島県の現状



# 福島県の健康寿命延伸に関連する健康指標

健康寿命 男性〔H25年70.67歳（41位） H28年71.54歳（36位）〕 女性〔H25年73.96歳（35位） H28年75.05歳（24位）〕

## 危険因子



### メタボ該当者が多い

（H28特定健診データ 17.3%）

**全国ワースト3位**

### 運動をする習慣のある人が減っている

（特定健診問診「身体活動を1日1時間以上実施」）

男性 H22（42.0%）⇒ H27（39.3%）

女性 H22（36.0%）⇒ H27（33.5%）

### 喫煙率が高い

（H28年国民生活基礎調査 22.3%）

**ワースト4位**



### 子どもの肥満が多い

### 子どもの虫歯が多い

3歳児一人平均う歯数：全国ワースト3位（H28年）

## 基礎疾患



### 高血圧が多い

受療率（H26患者調査）

総数(55～64歳)789（ワースト8位）

### 糖尿病が多い

受療率（H26患者調査）

総数(45～54歳)170（ワースト8位）

## 合併症

### 急性心筋梗塞による死亡が多い

（H27人口動態統計・年齢調整死亡率）

男性34.7（**ワースト1位**）、女性15.5（**ワースト1位**）

### 脳梗塞が多い

年齢調整死亡率（H27人口動態統計）

男性22.8（**ワースト7位**）、女性12.6（**ワースト5位**）

受療率（H26患者調査）

総数(55～64歳) 96（**ワースト4位**）

# 第二次健康ふくしま21計画

## 第二次健康ふくしま21計画

### 基本目標

～「すこやか、いきいき、新生ふくしま」の創造～

健康格差※の縮小

※ 地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差

健康寿命※の延伸

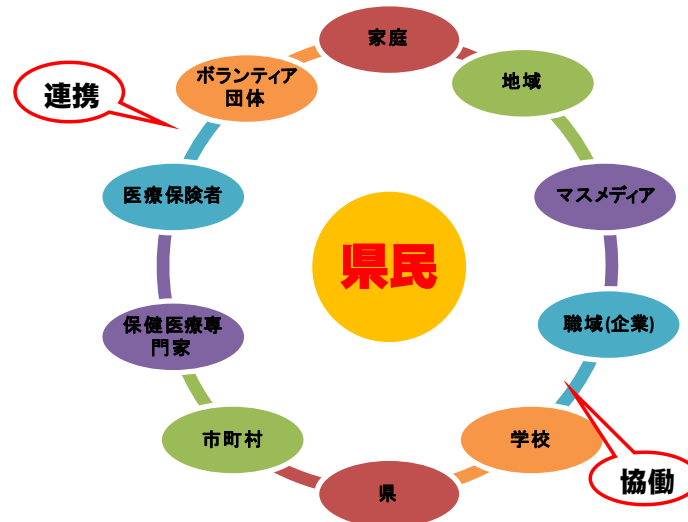
※ 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

#### ◇ 重点施策の実施

- 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（NCD※の予防）
- 2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- 3 健康を支え、守るための社会環境の整備
- 4 健康に関する生活習慣及び社会環境の改善
- 5 東日本大震災及び原子力災害の影響に配慮した健康づくりの推進

※ NCD(非感染症疾患)  
がんや循環器疾患、糖尿病などのような生活習慣の改善により予防可能な疾患

#### ◇ 社会全体で一体となった健康づくり実践活動の展開



計画期間 10年間  
2013（平成25）年度  
┆  
2022（平成34）年度

### 中間評価の実施（2018年度）

目標達成率 35%

改善率 68%

より一層の取組推進が必要

# 中間評価における今後の取組の方向性

## (1) 生活習慣の確立に向けた取組の強化

- 食・運動・社会参加を柱とした健康づくり事業の推進
- 無関心層に向けた意識改革
- 働き世代への健康増進のため、事業所等へ健康経営の取組浸透

## (2) 地域課題に応じた実効性の高い健康づくり事業の推進

- 二次医療圏ごとの地域・職域連携の強化
- 専門機関と連携し、データを活用した健康課題の見える化
- 民間企業等のノウハウを活用した健康づくり支援

## (3) 正しく分かりやすい情報発信や普及啓発の強化

- メディア、アプリ、ホームページ等を活用した普及啓発
- 食生活、運動、健康イベント及びがん検診等の正しくわかりやすい情報発信

## (4) 健康づくりを強力に推進するための体制強化

- 健康づくりの取組をより強力かつ効果的に推進するための推進体制の強化

# 第二次健康ふくしま21計画推進体制

## 第二次健康ふくしま21計画推進体制強化

健康ふくしま21推進協議会  
バージョンアップ

### 推進体制強化

食・運動・社会参加に関する団体の新たな加入や健康経営部会創設による機能強化と情報発信力の強化

## 健康長寿ふくしま会議

◆ **各専門分野の37団体が共働して地域と職域が連携した健康づくりの取組を企画・実践・評価**

知事をトップとし関係団体代表者で構成する新たな推進体制

### <下部組織>

#### <地域・職域連携推進部会>

- ・保健事業の情報交換・支援
- ・健康データの分析・評価
- ・健康課題の共有・対策検討

#### <健康ふくしま21評価検討会>

- ・健康ふくしま21計画の評価検討
- ・健康ふくしま21計画の見直し検討

#### 【新設】<健康経営推進部会>

- ・健康経営の普及啓発
- ・健康経営優良事業所認定・表彰
- ・健康経営の取組支援

## 地域保健の取組

### 県・市町村・保健団体等による取組

内容: 各種保健サービス活動及び各健康づくり事業の推進強化  
<県事業例> 健康長寿ふくしま推進事業、ふくしま食の基本推進事業  
被災者健康サポート事業  
その他食・運動・社会参加を柱にした各健康づくり事業

効果: 県民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小

連動

連動

## 職域保健の取組

### 企業・事業所等による取組

内容: 企業の健康経営による働く世代とその家族への健康増進  
<県事業例> 「元気で働く職場」応援事業  
ふくしま健康経営優良事業所認定・表彰  
空気のきれいな施設・車両認証制度

効果: 働く世代及びその家族の健康寿命の延伸と健康格差の縮小

連携

全国に誇る健康長寿県の実現

## 2. 平成31年度県事業計画



# 全国に誇れる健康長寿県に向けたロードマップ

## 基本理念

「人も地域も笑顔で元気」 健康長寿ふくしまの実現

目標

2013年3月計画策定時 健康寿命  
男69.97歳（34位）  
女74.09歳（16位）  
※2010年健康寿命

2018年度中間評価時 健康寿命  
男71.54歳（36位）  
女75.05歳（24位）  
※2016年健康寿命

2022年度最終目標 健康寿命  
男71.74歳  
女75.32歳  
※2022年健康寿命

## 健康長寿への三本柱【食】



## 【運動】



## 【社会参加】



### ホップ

### ステップ

### ジャンプ

## 県民一人一人の健康づくり（個人）



- ① 県民運動として展開
- ② 県民の意識改革（インセンティブの付与）
- ③ 健康状態の見える化

## 職域や民間企業等を巻き込んだ健康づくり（職域・学校）



- ① 市町村・学校・職域における健康づくりの支援
- ② ICTや広報を活用した健康づくりの広がり
- ③ ヘルスケア産業の創出など新たな切り口による事業展開

## 地域力を活用した健康づくり（地域）






- ① 自然と健康的な生活習慣が実践できる環境整備
- ② 県民誰もが社会参加できる、生涯現役社会の実現
- ③ 職域や地域の自主的な健康づくりの定着

健康長寿への方向性

全国に誇れる健康長寿県へ

平成31年度主な事業

食 	運動 	社会参加 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【新】 ふくしま“食の基本”推進事業【保福】</li> <li>・ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業【保福・農林・教育】</li> <li>・管理栄養士・栄養士人材確保事業【保福】</li> <li>・【新】 子どものむし歯緊急対策事業【保福】</li> <li>・【新】 菜食健美ふくしま！地域特産物活用事業【農林】 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿ふくしま推進事業【保福】</li> <li>・【新】 ニュースポーツによる高齢者の健康づくり支援事業【保福】</li> <li>・うつくしま、ふくしま。健康福祉祭開催事業【保福】</li> <li>・全国健康福祉祭選手派遣事業【保福】</li> <li>・ふくしまヘルスツーリズム推進事業【商労】</li> <li>・チャレンジふくしま県民運動推進事業【企調】</li> <li>・歩いて走って健康づくり支援事業【土木】</li> <li>・未来にチャレンジ！ふくしまスポーツ塾【企調】</li> <li>・ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト【教育】 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者社会参加活動支援事業【保福】</li> <li>・老人クラブ活動等社会活動促進事業【保福】</li> <li>・いきいき長寿県民賞【保福】</li> <li>・【新】 アクティブシニアによる高齢者生活支援モデル事業【保福】</li> <li>・自立支援型通いの場普及事業【保福】</li> <li>・【新】 高齢者就業拡大支援事業【商労】</li> <li>・ふくしまで働こう！就職応援事業【商労】</li> <li>・健康ビジネス創出支援事業【商労】 など</li> </ul>



# 健康長寿ふくしま推進事業概要

## 生活習慣病予防対策推進事業（地域保健・職域保健連携推進）

拡充/一部新規

- (1) 健康経営優良事業所の認定及び表彰
- (2) 【元気で働く職場】応援事業（職域）
  - ・保健所が核となり、職域保健等と連携した積極的な職域への働きかけやフォローアップ（職場訪問や巡回）の拡充
  - ・専門家や民間のノウハウを活用した健康経営推進のための健康づくりパッケージの提供等への補助
- (3) 先駆的健康づくり実施支援事業（市町村）
  - ・健康増進センターによる分析・評価を踏まえた、改善事業や民間のノウハウ活用したモデル事業の対象市町村の拡充（20→30市町村）
- (4) 健康長寿サポーターの育成（アルコール・たばこ等含む）
- (5) （新）糖尿病重症化予防事業
  - ・かかりつけ医が、糖尿病治療に関する知識を習得できる機会を設け、専門医及び市町村との連携強化を図る。



## ふくしま【健】民パスポート事業

インセンティブの付与による  
県民の健康意識の改革・向上

- ふくしま健民アプリの活用・機能充実
- 参加市町村（56/59）との連携
- 企業（連携企業相手先等）との連携  
ふくしま健民アプリ大感謝祭等
- 他部局との連携  
（商業まちづくり課/まちづくり推進課）

【インセンティブ】…パスポート提示で協力店舗特典、アプリミッションクリアを対象に抽選で景品プレゼント。



## 「ふくしま健民」プロジェクト事業

拡充

- (1) 周知・PR・広報活動の強化
  - ・「ふくしま健民プロジェクト大使」を活用し、報道機関やSNS等を利用した普及啓発活動
  - ・階段等利用を促す広報
  - ・よしもとクリエイティブ・エージェンシー等包括連携協定を活用した普及啓発活動
- (2) ふくしま健民検定
  - ・健康増進センター等の専門課の監修による、新聞を活用した県民及び企業参加による「検定」事業の実施



## ふくしま健康長寿フェスティバル開催事業

拡充

健康長寿フェスティバルの実施  
・健康づくりへの機運醸成を目的とし、地元自治体、商工会等を巻き込んだイベントを実施。

- ・高齢福祉課実施イベントと一本化し、対象世代を拡大。



## 福島県版健康データベース（FDB）構築・活用事業

地域単位の健康状態の『見える化』

- 健康データの収集・蓄積
- FDBの構築（H31.2月）

↓  
H31～本格運用開始

- 健康データの分析・評価
- 地域別の健康課題を抽出



## ふくしま健康情報ステーション事業 「健康増進センター」

拡充

県立医科大学との連携

- 科学的根拠に基づく評価・分析
- ・健康データ分析・評価（H31～）
- ・健康データの「見える化」による情報発信
- ・循環器疾患発症登録
- ・健康長寿延伸等のための調査
- 効果的な健康増進対策・疾病予防対策の推進
- 人材育成支援



# 健康づくり推進体制の強化（福島県組織改正（一部））

健康長寿県の実現を目指して、地域包括ケアシステムと健康づくり等を一体的に推進するため、健康増進課を「健康づくり推進課」に改編します。

健康づくり推進課において、県民の様々なライフステージに応じた健康づくり事業を積極的に展開し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小の取組を加速させます。

